

# 長島文芸

ながしまぶんげい

## 長島短歌会

習字に迷ひて休みしいとけなき孫と靈山に大鐘を撞く  
名古屋場所常の婦人が日々和服替へて正面に見ゆる樂しさ

西方の山に弓月朱に昏れて北空に雷鳴光り轟く

米尾 和子  
坂之下典子

永久に逢へぬ吾子と会いたし短冊に名前を書きて竹に結びぬ

わが家の軒に育ちし燕らか親に習ひてまた巣を作る

濱田美代子  
浜田美代子

後期高齢と呼ばる吾のさみしさを霧散させたり今朝の青空  
娘ら頼り病みて三月を過ぎし今日燕ら飛び交ひ長梅雨明ける

松元 瞳子  
岩下 ち江

一本の茎に十四の花かかげ鹿の子百合咲く緑の庭に

樺平 賴子

## 一般作品

降りしきる雨の合い間に山陰の虹立つ裾を鳥飛び過ぎる〔短歌〕

小林 如月

かぐわしきセイロンティー世界一くらべ飲みたる鹿児島知覧  
友達の願いと努力実を結びやさしさあふる島は栄えて

小林 貢

梅雨に咲く虫袋の紫はかしげて通る和傘にも似て

中仮屋辰子

何事も生きて居る内考へる良い友見付け人生なるよ

後藤 ヨシエ

センジョウボシと言いながらスルメイカ持ち来る友と酒くみ交わす  
母木 良平

町田 未則

夏帽子振らずに去りし渡船の子  
子らの声響く古刹や梅雨晴間  
機械化の田植え終はるや過疎進む  
海峡の海霧勇みや島を呑む

山壽加代子  
白男川孝仁  
大堂 早苗  
関 喜久雄

淵脇 護  
五歳児のひろい読み聞く夏帽子  
二回目の接種難無く田を植うる  
夏帽子まわり続ける老の独楽  
紫陽花や万華鏡なりけふの色

小林 貢  
中仮屋辰子  
後藤 ヨシエ  
町田 未則

踊り子の一座の旗や燕子花  
廣島の歌人集まる  
広場あり

関 佳代美

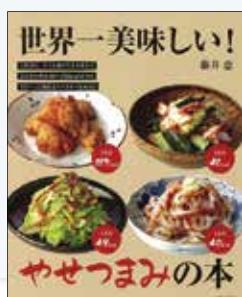
## 明神俳句会



### 会えるかも!? 妖怪ずかん

著:よしながこうたく

今、妖怪たちがあらわれたら  
どうする?こわいけど…ちょっと、  
たのしい!そんな妖怪たちを  
紹介します。



### 世界一美味しい! やせつまみの本

著:藤井 恵

切って混ぜるだけの簡単なもの  
から、魚・肉のボリューム満点なものまで、低カロリーおつまみ  
が満載です。

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-6500

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1111